

令和4年度執行目標（達成状況） 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画等	R4年度 実績値	R4年度 目標値
教育部	学校教育課	1	木津川市立小学校及び中学校の在り方検討	今後、児童生徒数が減少し小規模校が増加していくと見込まれる中で、児童生徒にとって安心安全で質の高い学力を育む良好な学習環境、教職員の指導体制を充実し、円滑な学校運営を行える教育環境を整えるため、中長期的な展望にたって今後の小中学校の在り方の検討を昨年度より進めている。木津川市における将来の学校運営の様々な可能性を考える「木津川市立小学校及び中学校の在り方基本計画」を策定する。	概ね達成	児童生徒数の減少や学校施設の老朽化等、課題認識の下、児童生徒が集団の中で切磋琢磨することを通して、持続可能な社会の創り手としての必要な資質能力を育むための良好な学習環境や、円滑な学校運営の実現にふさわしい学校規模の確保、小中一貫教育の必要性など、望ましい学校形態等の可能性を探る審議を重ね、今後の再編計画の基本指針となる基本計画を策定した。今後は中学校区を基本とた再編計画づくりを地域と共に進める。	検討委員会開催回数		4	4
教育部	学校教育課	2	城山台地区における児童生徒数急増対策	城山台学区における児童生徒の急増対策として、小学校敷地内に建設を行った「ふたば学舎」のⅡ期工事を行い、普通教室のほか多目的ホール等を整備し、学びの場である教室数を確保し、安心安全で一人ひとりを大切にす環境の整備を行う。これまでに引き続き、2つの学舎それぞれが独立した組織運営を行いながら、ひとつの学校として、安心安全で一人ひとりを大切にす学校教育を保障するための取り組みを行う。また、木津中学校への安全な通学環境の確保と、令和5年4月より新1年生の一部が木津南中学校へと変更となることに伴い、推奨通学路の整備等を行い、通学時の安全確保に努める。	概ね達成	城山台学区における児童生徒急増対策として、校舎増築工事（Ⅱ期）及び木津中学校への安全な通学環境の確保、木津南中学校への推奨通学路の整備を行った。また、大規模校にあっても適切な学校運営のため、専門顧問の配置を始めとした人的支援を継続した。学校選択制度についても事前周知し、利用生徒数は増加している。引き続き通学時の安全確保に務める。	工事進捗率等（%）		100	100
教育部	学校教育課	3	情報活用能力の定着及び個別最適な学びの実現	society5.0時代を生きる児童生徒の情報活用能力を育成するため、GIGAスクール構想に基づいて整備したタブレットパソコンをツールとして活用し、対話的・協働的な学びおよび、一人一人の特性や学習課題に応じた最適な学びの実現を目指す。	概ね達成	木津川市情報教育研究会と連携して「木津川市GIGAリーダー会」を運営し、各校のICTリーダーを育成した。また、情報活用能力について一覧表を作成して明示し、各学校の情報活用能力育成を促すことができた。また、各校のICTを活用した授業の実践をまとめた「木津川GIGA NEWS」を週に1回発行し、ICTの利活用促進を図った。今後、ICTを活用した授業の目指すビジョンを更に明確化し、更なる情報教育の推進を図る。	教職員（情報担当等）対象の研修回数		11	10
教育部	学校教育課	4	学校施設の改修改善	木津小学校及び相楽小学校の校舎は、老朽化が進んでいる状態であり、木津川市学校施設等長寿命化計画に基づき、ほかの校舎を含めた学校全体の配置計画を見直し、教育環境の改善等を目的として、学校を運営しながらの校舎全体の整備を行う。今年度は、昨年度から着手している校舎整備工事を引き続き行い、木津小学校については今年度末、相楽小学校については令和5年度末の完成を目指す。	概ね達成	木津小学校においては、校舎改築工事が予定どおり完了した。引き続き令和5年度に北校舎解体工事を行い、グラウンド拡張等外構整備を行う計画である。相楽小学校においては、中校舎長寿命化、南校舎大規模改修、北校舎解体工事が完了した。北校舎改築工事については、入札が1回目不調となったが再公告を行い、予定どおり着手し来年度末に完成する計画である。	工事進捗率（%）		100	100
教育部	こども宝課	1	待機児童の解消対策ガイドラインを基とした公立保育所民営化等実施計画2期の計画推進	公立保育所民営化等実施計画を推進する中で令和3年度においては1期における実績の検証と現状の把握、国制度や社会情勢の変化等を踏まえ1期一部対象園の計画期間の延伸を行う計画変更を行った。2期ではいつみ・やましろ保育園の令和6年度の認定ことも園化に向けた準備手続きを行い、切れ目のない子育て支援に向けた待機児童ゼロの継続を目指したⅡ期の計画推進を図るとともに保育業務における環境負荷低減や効率化に向けた取組みを推進する。	概ね達成	公立保育所民営化等実施計画2期におけるいつみ・やましろ保育園の令和6年度の認定ことも園化については、来年度の京都府への届出にむけた、関係手続きの確認を行うとともに、総合教育会議等において、認定ことも園移行の概要案を報告した。AI化については学研企画課とも協議を行いながら課題整理を行っている状況であり、今後の利用申込のオンライン申請の動向も踏まえ検討を行う。	子ども子育て会議	第2期子ども子育て支援事業計画	2	3
教育部	こども宝課	2	保護者ニーズの多様化に対応した幼児教育施設の在り方の検討	幼児期は、生涯にわたる人間形成期の基礎が培われる重要な時期であり、家庭・地域社会における教育とともに教育・保育施設の機能は、保護者ニーズの多様化とも相まってより向上することが求められている。加えて、幼児教育保育の無償化制度の開始等により、施設利用に対する保護者の選択肢が広がっており、特に保育ニーズの高まりによる幼児教育・保育に対する保護者要望に対応するため、公立幼稚園における各種サービスの拡充を行いながら令和4年3月に策定した公立幼稚園再編実施計画対象園の計画を進めるとともに公立幼稚園における環境負荷低減等の推進を図る。	概ね達成	令和4年3月に策定した「公立幼稚園再編実施計画」の保護者説明会を開催するとともに、高の原幼稚園保護者の個別ヒアリングを実施し、意見や意向把握を行った。また、再編実施計画に基づき、令和4年第2回議定会に開催議案を提案・可決。説明会や個別ヒアリングでの意見を踏まえ、通園バス利用拡大の検討を行い、令和5年1月（第3学期）から3歳児の利用を開始した。令和5年度から交流事業の開始に向けて準備を進める。	公立幼稚園数	公立幼稚園再編実施計画	3	3
教育部	こども宝課	3	木津川市子ども遊びイベントの実施	すべての子育て世帯が安心して子どもを産み、喜びと楽しみを感じながら、子育てを営むことができるまちづくり、また、次代の社会を担う子どもたちが健やかに成長することができる「子育て支援No.1」を目指すまちづくりを推進するため、「遊び」を通して子どもたちの健やかな成長に寄与することを目的とした子育てイベントを実施する。	概ね達成	遊具を活用した「遊び」を通して、子どもたちの健やかな成長に寄与し、子どもや保護者が交流を育めるイベントをコンセプトとして、本年度3回（5月、11月、1月）実施した。イベント参加者からは、「また開催してほしい」といったご意見を多数いただき、今後も、これまでから実施している「つどいのひろば」や「子育て支援センター」事業と併せ、子育てイベントを企画・実施することで、子育て支援サービスの更なる充実を図る。	実施回数(回)	子ども子育て支援事業計画	3	3
教育部	社会教育課	1	利用者の利便性向上による文化芸術活動の促進	生涯学習機会の提供とその充実を図るために、生涯学習施設（加茂文化センター・山城総合文化センター）の受付業務について京都府・市町村共同公共施設案内予約システムを活用してパソコンやスマホから「施設の仮予約」や「施設の空き状況の確認」を行うことができるシステム導入の検討を進める。	概ね達成	利用者の利便性を図るべく、生涯学習施設の受付について、京都府・市町村共同公共案内予約システムを活用して、パソコンやスマートフォンから「施設の仮予約」や「施設の空き状況」の確認が出来る様に、社会体育施設の予約システムを先行導入している加茂文化センター・山城総合文化センターにおいて運用を開始。今後は他の社会教育施設においても予約システムの環境整備と導入の検討が必要である。	案内予約システム導入施設（生涯学習施設）		2	2
教育部	社会教育課	2	社会教育・社会体育施設のLED照明の導入計画	社会教育・社会体育施設について、利用者の利便性向上、施設維持経費の削減、また、避難所施設の機能強化として、LED照明の導入を計画する。導入を計画している施設については、2021年以降、製造禁止となっている水銀灯を設置している市民スポーツセンター、当尾の郷会館に導入を計画しているが、その他施設についても施設の利用状況や施設維持経費の試算など検証を行い、効果が見込める場合は導入を検討する。	概ね達成	当初計画2施設を含む社会教育施設全体でLED化導入の検証を行った。また、老朽化対策の緊急度も踏まえ、今後の社会教育施設全体の計画（長寿命化等）の検証、計画を行い、具体的LED化の実施計画であるLED化事業計画を策定した。第1次計画で、市民スポーツセンター、当尾の郷会館の2施設。第2次計画で、西部交流会館、東部交流会館、南加茂台公民館、加茂青少年センターの4施設を計画した。				

令和4年度執行目標（達成状況） 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画等	R4年度 実績値	R4年度 目標値
教育部	社会教育課	3	図書館利用者サービスの向上と読書機会の増加に向けた取り組み	社会情勢の変化と利用者ニーズの多様化に対応しながら、利用者サービスの向上にむけた取り組みを継続する。 奈良市立図書館との電子図書館共同運用により人との接触を減らし、また図書館に出かけづらい利用者にも本に親しむ機会を確保する。 また、中央図書館の開架スペースの有効活用として書架の整備を計画的に進めるとともに、自習席の一般利用に加えて自主学習場所を確保し、利用者のサービス向上につなげる。	概ね達成	奈良市立北部図書館の利用について、北部図書館比12%以上の市民の利用があった。 また、中央図書館の開架スペースの有効活用として一般書架の整備を行った。 令和3年7月に運用を開始した自習席について4年度は利用増加(600件)となった。	奈良市北部図書館・木津川市民登録者数(人)		3,485	3,400
教育部	文化財保護課	1	歴史的・文化的遺産の保全と活用	市内に存在する数多くの貴重な歴史・文化遺産を適切に保存・管理し、市のまちづくりに活かす取り組みを継続する。平成30年度から着手した歴史文化基本構想策定事業から移行した文化財保存活用地域計画の今年度文化庁への素案提出を目指し観光資源や地域振興に活かす取り組みの推進を図る。併せて、史跡買上げ事業等の継続、椿井大塚山古墳防災対策工事を実施し文化財の保存と活用を図る。	概ね達成	歴史文化基本構想策定委員会は、当初予定時期から少しずれたが開催し、年度内に案を文化庁へ提出することができた。椿井大塚山古墳防災対策工事と史跡恭仁宮跡公有化についても、年度内に完了することができた。				
教育部	文化財保護課	2	市民との連携による歴史学習の推進と文化財の公開	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座形式等でなくとも文化財の普及啓発に資する事業展開が必要である。そのため、従来実施してきた出前授業等に加え、市民が自発的に取り組むことができる遺跡巡りのスタンプラリーを開催する。また、「広報きづがわ」での文化財紹介、市役所展示ブースなどでの文化財展示などを実施する。	一部未達成・成果小	「広報きづがわ」への文化財紹介記事は、毎月全12回の掲載を行った。 スタンプラリーは、環境整備や、椿井大塚山古墳・高麗寺跡のパンフレット作成と現地への設置など準備を行ったが、開催そのものは見合わせた。 市役所2階ブースの展示更新についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来場呼びかけ自粛のため、実施を見合わせた。	スタンプラリー等参加者(人)		0	200